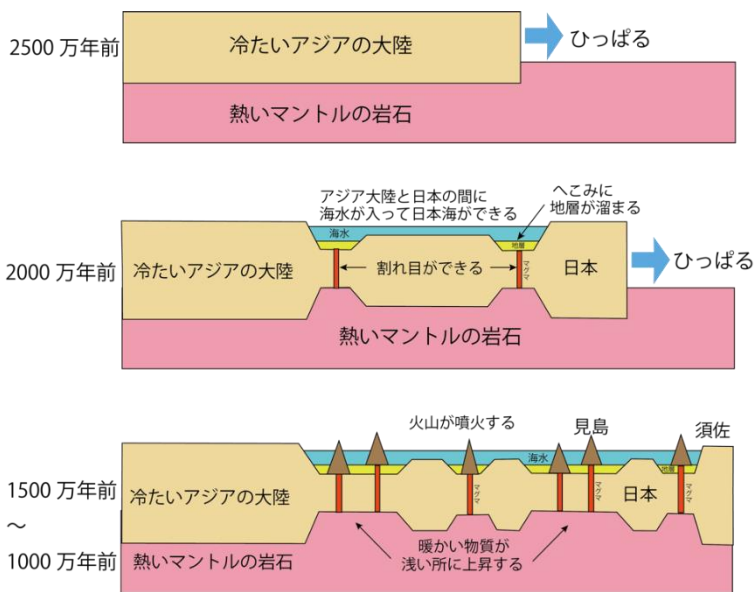
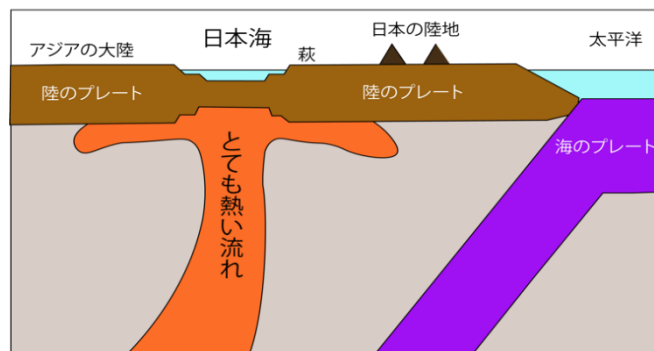




昔、日本はアジア大陸の東端にあったんだって。
日本海はいつできたの？見島はいつ頃噴火したのかな？

今から約 2500 万年前から約 1500 万年前に、日本海はできました。日本海ができる前の日本はアジア大陸の東端に位置していました。その大陸の一部が大陸の他の部分からゆっくりと離れていき、今の日本の基になりました。

日本が離れていくとき、アジア大陸は餅のように引き延ばされて薄くなりました。この薄くなった陸地の表面に海水が流れこんで日本海ができました。薄くなった陸地の底の方には、熱いものが流れこんできて、マグマをつくりました。日本海のマグマです。日本海は、今から約 1500 万年前には開き終わったのですが、日本海のマグマの活動は、その後も続き、約 1000 万年前(1150~800 万年前)に見島の火山が噴火しました。



上記作図：萩ジオパーク推進協議会顧問 脇田浩二



見島は大きな火山のてっぺんだよ

見島は、面積が約 8 km²の小さな島ですが、海底には火山の噴火でできた高まりが広がっていて、とても大きな火山だったことが分かります。海岸沿いでは、マグマが流れ出して固まった溶岩や火山弾、スコリアや火山灰などの火山噴出物が降り積もった地層を見ることができます。

右図：見島周辺の海底地形模型【萩博物館】

